

ひやくさい

2017年(平成29年)1月発行 No.83

福岡県高齢者福祉生活協同組合

〒812-0025 福岡市博多区店屋町3-23

サカタビル2F

TEL(092)282-1431 FAX(092)282-1433

発行責任者:理事長 吉野 高幸

編集責任者:広報委員会

Email: ikiiki00@mba.sphere.ne.jp

ふくし生協

検索



理事長新年のご挨拶

理事長 吉野 高幸



皆さん明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願

私は昨年6月に理事長に就任して半年が過ぎました。

経営改善の「兆し」を

この半年で感じているのはまず「そろばん」の問題です。「ひやくさい」の理事長就任のご挨拶(ひやくさいNo.80)でも書きましたが「採算が合わない」と事業として生きていきません。

今年度の経営状況はまず赤字を克服出来ていません。しかし一昨年から経営改善のための様々な取り組み、昨年11月の経営改善を加速するための役員的大幅な人事異動など、役職員の努力と組合員の皆さんの協力で昨年後半から前進

の兆しがみられるようになりました。今年はこの「兆し」を本物の「動き」にしたいと考えています。

皆さんのご協力をよろしくお願い致します。

現場に臨んで学ぶ

次に感じているのは、理事長である私自身が福祉生協の「現場を知らない」ということです。毎月の決算を見れば、経営状況は大まかに理解出来ます。しかし福祉生協の現場、各事業所の状態を正確に理解するためには「現場に行く、現場を知る」ことも必要だと思います。

毎月2ヶ所を目標に

そこで私は、今年は月に2回各事業所に出向こうと考えています。そうすれば当生協のすべての事業所が回れます。特別の目的が

ある訳ではありませんが、介護などの現場で献身的に働いておられる職員や地域で活動されている組合員の皆さんの様々な活動の現状を少しでも把握することができ、何かお役に立てればと思っております。

組合員の皆さん、職員の皆さん、その際にはよろしくお願いいたします。



年頭にあたつて:

専務理事 稲月 秀雄



【自助と健康
…その先にあ
る不安】

新年明けま
しておめでと

うございます。

のつけから社会保障を取り巻く情勢の話ですが、医療・介護の負担増や年金の削減が日常の会話に増えてきたと感じるのは私だけでしょうか？

公的なサポートが削減される一方、自助と地域の支え合いへの期待が増し、そのことが浸透しはじめているのではと感じています。

実際、地域に出て活動していると、地域役員の中にはシルバー人材センターで働き、生活の糧としている人も多いのです。

シルバー人材センターは、請負(又は委任)就業形態の配分収入なので、雇用労働のように

最低賃金が保障されるわけでは
ありませんが、年金プラスの収
入と、活躍の場(働く場)があ
ることが、やりがいにつながる
がっているようです。

しかし、健康だからこそその
「今」であつて、いつまで働
けるか」の話題に移ったとき、
一抹の不安を感じていたのも現
実の話です。

【ふくし生協の役割】

地域に出れば、前述のよう
に、高齢になつても働き、また
地域活動にも積極的に参加して
いる多くの方に出会います。

また、地縁や血縁、社縁のよ
うな伝統的なつながりが少しづ
つ弱くなつてきたことや、孤
立に陥る人が少なくないのも
実感します。

私自身の思いとしては、ふく
し生協の組合員になること、す
なわち「協同の縁」を持つこと
が、伝統的なつながりに織り込
まれ、孤立を防ぐ一つのセイフ
ティネットのような役割を果た
せる：そんな組織づくりをめざ

しています。

【課題を克服して頼られる存
在へ】

理念「めざすもの」にも示さ
れているように、私たちは「高
齢になつても障がいがあつて
も、安心していきいきと暮らせ
る地域づくりをすすめる組織」
です。

同様の思いや不安を抱える
人々が「協同の縁」を通じて安
心・安全のつながりを創り、支
え合いの活動を広げていけるよ
うな支部づくりを進めていきま
す。

同時に、介護福祉の総合力を
高め、運動の継続に欠かせない
事業を進展させ、頼られる存在
感を発揮できる事業所づくりに
取り組むつもりです。

運動も事業も、その発展は
「人」に左右されるの言うま
でもありません。

しかし、現状は役職員や組合
員の間で、情報共有に苦労して
いて、私たちの存在意義・価値
を高める段階まで到達していま

せん。

そのような現状もあり、今年
の大きなテーマは「人づくり」
とし、これまで以上に情勢の理
解、それらの情報共有を深める
工夫をしていきたいと考えてい
ます。

また一年間、この「広報誌
ひやくさい」を通じて、組合員
の皆様との情報共有に努めてい
きますので、ご指導ご鞭撻のほ
どよろしく願ひします。

漢字クイズ(頭の体操)

《この難読漢字熟語読めますか》

- | | |
|------|------|
| ① 箴言 | ⑪ 塗師 |
| ② 勤行 | ⑫ 娑婆 |
| ③ 久遠 | ⑬ 阿諛 |
| ④ 杞憂 | ⑭ 陶冶 |
| ⑤ 陷穽 | ⑮ 呪詛 |
| ⑥ 権化 | ⑯ 虚仮 |
| ⑦ 功德 | ⑰ 揮毫 |
| ⑧ 煩惱 | ⑱ 逼塞 |
| ⑨ 斯界 | ⑲ 蠱惑 |
| ⑩ 俎上 | ⑳ 貪婪 |

(答えは11ページ)

シリーズ
人生の高齢期を考える

老後をめぐるお金の問題(その⑭)

No.27

お金はどう行へるかを考えてみる
オバマも自国民も国民の暮らし
より外国での商売が大事?

年金制度改正法案(年金カット法
案)でますます年金給付額を削減
し、将来に向けてさらに高齢の生活
困難者が増大すると予想されていま
す。10年間年金保険料を納めれば年
金が支給されるようになりますが、
月16000円程度にしかなりま
せん。低い賃金で働いている国民大衆
から少しでも年金保険料を集めよう
というさもし根性の政府や役人の
考えそんな姑息な企みです。

「老後をめぐるお金の話」で何号に
もわたって書いてきましたように、世
界第三位の経済大国と言い、孫正義
や柳井のような途方もない大金持ち
が出現しても国民全体は少しも豊
かになったという実感がありません。
この人たちが事業によって得た収入
は、どうして国民全体に回つてこ
ないのでしょうか。

先日、テレビのニュース番組で、共産
党の小池氏と保守の論客である西部
邁氏とがトランプ次期米大統領の発
言に対し、それぞれの立場で「合衆国
からの自立」を語り、なかなか興味深
い番組でしたが、軍事的にそうであ

るように、戦後一貫して政治的、経済
的にも米合衆国の支配下に置かれて
いるという事実がトランプ騒動の中で
垣間見えた気がします。

今回の騒動で、多数の米合衆国国民
もまた国力ほどには恵まれた生活
ではなく、経済的な矛盾を抱えている
ということが見えました。そのことが
トランプのTPP離脱のメッセージに
も現れています。

では、オバマ大統領がTPPを推進
したのはなぜなのか。政権時交渉をス
タートさせた民主党、TPP反対のウ
ソまで言つて政権を奪取した安倍自
公政権も推進の立場であるのはなぜ
なのでしょう。

金融資本主義の膨張

現代は物の売買や生産が国境を越
えて行われるだけではなく、金融資
本主義と言われるようなお金がお金
を生む国際社会となり、国境を越え
て株式や債券や通貨そのもののまで売
り買いし莫大な富を独占する個人や
企業が存在が少しは見えてくるよう
になってきました。今日のグローバルな
(国境を越えた)経済社会では、世界
中で思うままに事業を展開するため
に、自国他国を問わず国の政治をお
金で支配するようになってい

イラクやリビアのように戦争まで
仕掛け、政権をつぶした後石油資源
などを奪うようなや殺戮と略奪行為
働いているのも米合衆国・イギリス・フ
ランスなどの先進国です。彼らはアジ
アやアフリカなどの途上国には容赦が
ありません。大戦中の沖縄や本土爆
撃を連想させます。戦争程儲かるも
のではないと言いますから、そのための
莫大な資金は総資産200兆円を
超えるような先進国の巨大銀行が提
供しその利権を奪うのです。

世界の基軸通貨ドル紙幣を発行し
ている米合衆国の連邦準備銀行
(FRB)は、株式の100%を民間
会社(巨大銀行)が所有している民間
会社だそう

ドルを支配するものは世界の政治
経済を支配できます。共和党はイギ
リスのロスチャイルド系(原発資本)、
民主党はロックフェラー系(米国保守
本流・石油資本)とそれぞれに支配
されています。ロスチャイルド系のゴ
ールドマン・サックス(巨大銀行)出身者
が、トランプ氏(共和党)の次期政権の
要職に就き始めているのを見ても、明
らかです。米合衆国を中心とする先
進国政府は、エネルギー・軍需産業か
ら情報・マスコミまで支配する、ロス
チャイルド対ロックフェラーの金融支配
のもとにあります。

第二次大戦後米合衆国との関係で
自民党・ロックフェラー系政権が生ま
れ、以後この関係が、我が国政府と米

合衆国政権との関係として続いてい
ます。自民党はロックフェラー系、民進
党はロスチャイルド系とも言われ同盟
国として政治・経済支配を受けてき
ました。

国民のお金は巨大金融資本の金
もうけに使われる

TPPは、グローバルな金融資本が
アジア地域の経済支配に乗り出すた
めのものです。政権がそのお先棒を担い
でいるのです。そのためのアジア地域へ
の多額の投資、「安全な」原産地証明・輸
出、福島廃炉のための資金捻出、軍事
費確保、株価操作と特別会計予算確
保(米合衆国国債の買受費用捻出
等)のための年金積立金の流用など
国民と税金を富を奪っているのです。

安倍首相がトランプ氏にTPP直
訴に行つたりプーチン大統領に経済支
援を持ち掛けたり、また、民間人のソ
フトバンクの孫正義がトランプ氏に米
国への投資の話を持ち掛けに行つたり
という姿は現在のアメリカ大統領や一
国の総理大臣が、国民の暮らしより
も資本家の銀行を喜ばす営業マンで
あるということではないかと思いま
す。

ちなみに、三菱UFJ銀行は総資
産280兆円で世界2位の巨大銀
行です。280兆円の源泉は?

(次号に続く)
(記吉野道利)

法律ひとくちメモ

No. 21

遺言残して争い残さず
法的ドキュメントパート⑮

今回は、相続をした不動産の処分方法についてお話をしたいと思います。

当事務所によく寄せられるご相談のなかに、相続で田舎の土地と家屋(実家)を相続したのですが、住む予定もなく、空き家にしておくのはもったいないので、現金に換えて、相続人で分配をしたいといった内容の相談です。

相続不動産を売却するためには、先ず、権利関係をしっかりと整理した上で、不動産屋に売却手続きを依頼すればよいのですが、先にも述べたとおり、田舎なので、なかなか売れないといった悩みです。そこで、売れないのであれば、急いで売らずに維持し続けられよいのでは?という方もいらっしゃると思いますが、誰も住まなくなった家屋を空き家として維持するだけでも固定資産税は永遠と発生してしまいますし、空き家になった家屋は劣化が進み、空き家状態では物騒でなりません。そこで、今回のお題でもあります、相続不動産の処分方法についてお話をさせて頂きますが、皆様はどのような処分方法が思い浮かぶで

しょうか?処分方法の手段として寄付をするといった方法がご紹介します。

無料で土地と家屋をあげるのだから誰かしら貰ってくれるだろうと思われがちですが、誰でも受け取ってくれるとは限りません。そこで、次のような寄付先が考えられます。

①自治体への寄付

寄付の相手先として最初に思い浮かぶのは、その土地の地域の自治体です。第三者の他人に寄付をするのなら、公益になるように使って欲しいと考えるのは自然な考えだと思えます。ところが、自治体は使用する目的がなければ、土地や空き家の寄付を受け入れません。自治体が寄付を受け入れない理由としては、不動産の所有者に課せられる固定資産税や都市計画税は、市町村税といって市町村が課税する税金で、市町村にとって重要な財源です。代表的な市町村税には市町村民税(住民税)もありますが、田舎の人口減少から減収傾向の住民税に対し、不動産は動かないので固定資産税は比較的安定した税収なのです。実際のところ、地方の自主財源のうち住民税と固定資産税はほぼ半分の割合をしめております。市町村の資産になってしまふと、自らの資産に課税して徴収しても意味が無く、固定資産税が非課税

になり、さらには寄付された土地や空き家を管理するだけでもコストが増え、寄付前の税収に対して寄付後は支出しか残らず、財政を悪化させるような寄付は受け入れてくれません。

自治体への寄付の流れ

自治体によって、寄付の申出に対する流れは異なりますが、次のように進みます。

1 担当窓口相談

2 自治体による土地家屋の調査

3 受け入れが可能な場合には必要書類の提出といった流れになります。

必要書類について

寄付の申出書(自治体の様式)

登記簿謄本及び公図

・所有権移転承諾書及び登記原因証明情報や現況写真などが必要になります。その他にも提出を求められる書類がある場合がありますので、事前に相談が必要です。

②個人への寄付

個人への寄付で最も可能性が高いのは隣地の所有者です。他人の隣地だった場所が自分の土地になり、必要なら一団の土地として合筆できるのは隣地の所有者だけだからです。

他に受け取ってくれる人がいるなら誰でも問題ないですが、寄付した後

運動能力チェックしよう

高齢運転者による事故が相次いでいる。運転をやめたいと思っても、公共交通の便が悪い地域も多い九州ではなかなか難しい。最低限の運転を続けるとしたら、どんな事故防止策があるのだろうか。

「運転をやめた方がいいのは分かっている。でもやめられない」。福岡県筑紫野市の民生委員日野浄子さん(67)の周りでは、運転について悩む高齢者が急増している。

高齢化した郊外の団地では80代、90代で運転している人も多いが、スー

パーの立体駐車場の出口で逆送しそうになったなど、ひやりとした体験を持つ人も多い。だが、最寄駅が遠く、バスの便数も少ないため、買い物や病院などに行く手段がなく「やめられる環境がない」のが実情だ。

高齢者の集まりで免許返納を呼び掛けようとしたが「生活手段を奪うことになる」との反応が大きく、断念した。

雨天時や夜間は運転しない、軽自動車に乗り換えた、遠出しなないなど、

高齢者の事故防止策

それぞれができる範囲で事故防止を心掛けていたが、日野さんはいつ大きな事故が起ころうともおかしくないと感じている。

◆ ◆
NPO法人高齢者安全運転支援研究会(東京)の中村拓司事務局長(59)は福岡県出身。「公共交通が未整備な郊外や地方では、高齢者の日常生活にも運転が不可欠。高齢者が身体能力や認知能力の衰えを正確に把握できる機会を提供し、個々に合わせた注意喚起や指導が必要」と指摘する。

同会は、危険な運転につながる軽微な異常「運転時認知障害」を早期発見し、なるべく運転が続けられるような予防を呼び掛けている。チェックリスト(抜粋版)は表2で3項目以上当てはまる人は注意が必要で、専門医の受診も検討しよう。詳細な30項目のチェックリスト(5項目以上で要注意)は同会のホームページで閲覧できる。

事故防止にはまず、自らの運動能力の低下を自覚し、運転時に緊張感を持つこと。半年から1年に1回、家族や知人に同乗してもらったり、ドライブレコーダー(車載カメラ)で自らの運転を点検したりすることも重要だ。

運転にはハンドルを回す腕力、アクセルやブレーキを踏む脚の筋力、ア

のトラブルに巻き込まれるのも面倒なので、隣地の所有者が第一候補としてあげられます。空き家においては、土地よりも管理コストがかかって敬遠されがちですが、ゲスト用に欲しいと考えているかもしれません。空き家を理由として土地の寄付を受け入れてもらえない場合には、解体費用を半分負担するなど、柔軟に対応することで、可能性は少なからずあるはずで、個人への寄付は先方に費用が発生してしまいますので、寄付する相手(受贈者)は、寄付を受けることで資産が増え、贈与税が課税されてしまいます。贈与税には基礎控除が110万円あり、空き家や土地の合計評価額が110万円以下なら無税です。贈与税は税率が高いとはいえ、高い評価額の土地や空き家が寄付しできない状況は想像しにくいので、贈与税はそれほど高くならないと思います。贈与をする際には、しっかりと贈与契約書を作成しておいてください。

次回は、法人への寄付や自治会や町内会への寄付等についてお話をさせて頂きます。

(つづく)

(南区行政書士・水野勇二)

前後左右を見渡す首の柔軟性が必要。ラジオ体操などを続け、こうした力の維持を心掛けよう。ウォーキングやダンスなどの運動、計算やしりとりなどの認知課題を組み合わせた「コグニサイズ」などの認知症予防も、運転能力維持に有効という。

◆ ◆
一方で、高齢者の能力低下を補う技術も進歩している。車線をはみ出したり、前方車に近づき過ぎたりすると警告する機能がある自動車や商品も登場しており、積極的に活用したい。

同乗者が道案内すれば運転に支障がない人、焦ったり急いだりすると運転操作を失敗しがちな人もいます。「高齢だから一律に運転をやめさせるのではなく、個々の環境や実態に合わせたきめ細かい対策が必要。例えば、運転できる地域や条件を限定した免許があつてもいい」と中村さん。

運転のやめ時はどう見極めるのか。中村さんは「ひやりとする体験を繰り返したり、客観的な同乗者が危ないと感じたら、やめた方がいい。ただ、運転者本人が納得することが大切」と話している。

(西日本新聞より引用)

●「今の自分」を知るため●

運転時認知障害早期発見チェックリスト(抜粋) 三つ以上当てはまったら要注意

- ☐ 車のキーや免許証などを探し回ることがある
- ☐ 道路標識の意味が思い出せないことがある
- ☐ スーパーなどの駐車場で自分の車を止めた位置が分からなくなることがある
- ☐ よく通る道なのに曲がる場所を間違えることがある
- ☐ 車で出掛けのに他の交通手段で帰ってきたことがある
- ☐ アクセルとブレーキを間違えることがある
- ☐ 曲がる際にウインカーを出し忘れることがある
- ☐ 反対車線を走ってしまった(走りそうになった)
- ☐ 右折時に対向車の速度と距離の感覚がつかみにくなった
- ☐ 車間距離を一定に保つことが苦手になった
- ☐ 合流が怖く(苦手に)なった
- ☐ 駐車場所のラインや枠内に合わせて車を止めることが難しくなった
- ☐ 交差点での右左折時に歩行者や自転車が急に現れて驚くことが多くなった
- ☐ 運転をしているときにミスをしたり、危険な目に遭ったりすると頭の中が真っ白になる
- ☐ 同乗者と会話しながらの運転がしづらくなった

浦上克哉・日本認知症予防学会理事長監修
高齢者安全運転支援研究会提供

この二年、勝負の年に！

(けいちく事業所)

事業所長代行 鬼松生

所長代行として1年が経過しました。2016年は事業所運営に課題を残す結果となり、反省も多い1年となりました。しかし、10月から年末にかけて利用者の増え復調の兆しが見え始めています。

2017年は私にとっても勝負の年だと感じています。ご利用者・職員・組合員の取り組みや想いを無駄にせず、実らせることが私の使命だと思っています。

今年は年間通じて笑える年になるよう頑張ります。

心をつないで

(ひまわり事業所)

所長 稲月昌子

あけましておめでとうございます。組合員の皆様のおかげで今年も何とか新しい年を迎えることができました。

昨年は、職員の不足や力量低下が深刻化し、運営の危機を強く感じる1年でした。また、それでもへこたれない職員の輪が、ひまわりの根っこにあることを実感した1年でもありました。

新しい年も課題山積です。皆さんと心をつないで、取り組んでいきたいと思っています。

B(の事業)ふくし生協の存在意義の発揮を！

(北九州統括事業部)

部長 松本憲一

2016年は、大きな環境の変化に備えて事業の枠組みづくりを一応完成させた1年でした。5月には八幡西区穴生に「デイサービス夢ひろば」と生協ホームを新開設し、10月には前年にオープンした「ふくし生協小規模多機能ほばしら」の1周年感謝祭を成功させました。ひとえに運営委員さんを中心とする組合員と職員の参加と協力の賜物です。

2017年は北九州の8つの事業と一層の組合員参加によって地域でのふくし生協の存在意義をさらに発揮したいと思っています。

若い仲間たちとひと頑張り！

(水巻事業所)

所長 藤田眞弓

新年あけましておめでとうございます。今年も、赤とんぼをどうぞ、よろしくお願いいたします。

さらに苦難の年となりそうですが力を付けてきた若い仲間たちといっしょに、またひとがんばりし、心から笑える年にしたいものです。



「なつみね」スタイルの確立が夢

(直方事業所)

所長 田代直世

新拠点に移って2年半が経ちました。やつと事業所運営も軌道に乗り始め、生協ホームも満員御礼という状態で新年を迎えることができることに感慨もひとしおです。利用者さんに不自由をかけることがあつてはならないといつも気になっていました。その頂点に登るための職員の仕事ぶりには並々ならぬ努力がありました。利用者、家族、地域の人々の交流広場であり続け、利用者、働く人に優しい温かみのある職場であり続けるよう、このスタイルを保ちつつ、楽しく充実感のある職場で、働く若人と、働く高齢者と、利用者さんで、なつみねスタイルを確立して行くことが今年の夢です。

赤字克服に頭・足・口を総動員！

(嘉飯事業所)

所長 吉野道利

社会保障をどんどん削るひどい政治が続いています。飯塚近辺は生活保護所帯と低年金者が多い地区です。今月も「少ない年金ですが」と入居の相談に訪れた家族がいます。ケアマネさんは「困ったときのにぎわい荘」と介護とお金に困っている家族を紹介してきます。「お金がお金」と所長は頭を抱えています。そうした家族を支えながらも赤字を克服することに頭と足と口を総動員する1年が続くことでしょう。

確固たる収益構造の構築！

(宗像事業所)

所長 高田朋之

新年明けましておめでとうございます。

本年は宗像事業所、さくらデイサービス日の里にとって、重要な年になるとおもいます。現在、デイサービス内で行っている自費宿泊サービス(お泊りデイ)から生協ホームへ転換する予定があるからです。現在の低い収益構造では、ホームの運営も高いリスクを伴う結果になりかねません。確固たる収益構造の構築が本年度の抱負であり課題です。

昨年同様に頑張りたい

(福津事業所)

所長 坂口佐代美

明けまして おめでとうございます。

酉年を迎え新年のご挨拶をさせて頂きます。昨年を振り返りますと、宗像・福津事業所より福津事業所と単独となりましたが、今まで通りに宅老所として、また十月より「生協ホーム福津」を開設し、365日・24時間営業で、組合員様ご利用者のニーズに合わせた介護事業所として頑張ってきました。本年も昨年同様に皆様に愛される事業所として、頑張っていきたいと思っています。

特集

ふくし生協全事業所「所長の新年の挨拶」

酉年

今年も職員一同頑張ります

(めくもり・給食 事業所)

所長 清水京子

めくもり事業所は一昨年、現在の地に「拡大移転」して利用者様も倍増し、2階の入居施設は満室となり賑やかな日々を過ごしています。

ヘルパーステーションも明るい新居に入居益々張り切っています。

給食センターは毎日「安心・安全で美味しいお弁当」をお届けする為職員一同奮闘しています。

私たちは、今年も利用者様のご要望にお応えできる様なサービスの提供とふくし生協の理念の実現に向けて全職員一同、頑張ります。

みんなで収支の改善、運動の強化を！

(東事業所)

所長 畑山伸夫

東事業所に赴任し4ヶ月が経過しました。昨年は、管理者交代から所長就任など、私を含めフタッフ一同目まぐるしく過ぎた1年でした。

2018年の東事業所は、「みんなで」をテーマに、みんなで運営を検討し、みんなで収支の改善に取り組み、みんなで運動の強化を進めていく。そんな1年にしていきたいと考えています。何卒、本年も宜しくお願い致します。

職員丸となって頑張る年に！

(西南事業所)

所長 梅野信子

新年あけましておめでとうございます。

私共、西南事業所では、ヘルパーステーションのような、宅老所原さん家、宅老所たのしか荘と三つの部門をもつ事業所です。地域に根づいて、地域の方々から喜んでもらえる事業所を目指しております。西南事業所職員が一丸となって今年も頑張っています。

介護技術のスキルアップを目指したい！

(ミナミ事業所)

副所長 矢野昌子

介護保険制度の改定に伴い、厳しい事態を余儀なくされ、今後の事業経営も厳しくなります。現在の利用様を今後どのようにすれば生活維持がもつと可能になるのかを個々に考えながら、職員だけでなく、地域の方・組合員・ボランティア等の協力を仰ぎながら支えていかねばと思っています。その為にも重度化対応を考えています。職員一同の介護技術等スキルアップを目指して頑張っていきたいと思えます。それが経営力アップにつながることを願っています。

これからの巻き返しに期待！

(久留米事業所)

所長 隅川浩平

約9年間に在籍した小規模多機能ホームみなみより、平成28年4月に福岡統括事業部ふくし生協ケアプラセンター福岡へ異動し、その後同年6月より久留米事業所所長代行、同年11月より、所長として関わり始めました。福岡市内よりほぼ毎日通っていますが、なかなか遠いだけでなく、久留米市が盆地であるため、気温が1〜2℃違うことに驚きを感じています。事業については、通所(地域密着)、訪問、小規模多機能に合わせて、賃貸住宅であるシェアハウ

お困りごとは何でも相談ください！

(福岡統括事業部)

事務長 渡辺隆仁

組合員の皆さま方、新年明けましておめでとうございます。まずは無事に新しい年を皆様と迎えることが出来、心から感謝とお礼を申し上げます。

私ども福岡統括事業部は、高齢・障がい分野におけるお困りごとに対して、相談受付と支援の組み立てを中心の業務として活動しております。組合員の方々におかれましては、介護の問題で苦労される事のないよう、ご相談下さいますようお願い申し上げます。

ス(協同住宅)6部屋・ピアハウス(1LDK)10部屋の事業を行っております。事業経営として、今期非常に苦しい状況となっており、現在現場職員と議論を深め、情報の共有をしています。特に、小規模多機能の事業高の落ち込みが激しかったことから、これまでのミナミで培ってきたものを最大限発揮して、来年度の飛躍につなげていきます。久留米も、職員一人一人が、伸び伸びと業務に関わっており、大事な人材力がすぐにあることから、来年度の形が見えやすい状況です。これからの巻き返しに期待いただき、笑顔あふれる事業所運営を実現していきます。

支部・事業所だより

11月8日 めくもり運動会開催!!

「立つちやダメです
よ!!イスに座って玉
を投げてくださーい
!!」スタッフの懸命の
呼びかけもむなしく、
移動するカゴを追って
立ち上がった玉を投げ
る利用者の方々。普
段あんなおとなしい人
が!!と意外な一面を
見せていただいた玉入
れ競技。

続いてのお玉をつ
かてのもの送り競争
では、スタッフも紅白
にわかれて参戦。そ
こまでして勝ちたいの
か!!と利用者以上に
ヒートアップしたス



手編み物の 作品展開催

タツフに皆様タジタジ!
何にでも手を抜かず真剣に取り組む
姿勢に呆然とされておられました。
最後は定番のパン食い競争。こちら
も普段見ることのできない表情を見せ
ていただきました。
終えてみて、去年との違いはやはり
参加された方の人数。30名近くの方が
いっせいに玉入れをする光景はまさに
壮観!みなさまのおかげで盛大にそし
て無事に運動会を終えることができました。
感謝!!

(めくもり事業所 蓮池 昭浩)

原さん家をご利用いただき8年程に
なります、大正12年生まれの田中カズ
エさん。

現在93歳、今もつばらの趣味は「編
み物」。自宅でも、原さん家でも編み
物に夢中です。「肩こりはしません」
と次々と作品を編み上げていきます。

この度、地域の公民館にて田中カズ
エさん作品展が開催されました。

セーター、マフラー、帽子、靴下カ
バー等々総勢数十点。

「こんなにも出来上がっていたんで
すね」と感心するも、人にプレゼン
トしているものも多数あるとの事。



「編み物をしてる時が一番楽し
い」とカズエさん。来年は編み物先生
のオフ会も来ているそうです。ます
ます忙しくなりそうですね。

(西南事業所 原さん家 森本春美)



健康ひとくちメモ

季節柄、高齢者に多い 「やけど事故」に気をつけて

冬至も過ぎて、北風と共に寒い日が
多くなりました。これからの時季に注
意したいのが、やけどの事故です。消
費者庁によると、高齢者に特に多い
けど事故は次の4種類です。

①「低温やけど」はカイロや湯たん
ぽなどが原因になることが多く、44度
という温かく感じる程度の温度でも3
〜4時間で発症するため、長時間同じ
場所を温め続けないよう注意してくだ
さい。

②「着衣着火」は仏壇のろうそく、
ガスこんろが原因になることが多く死
亡例も報告されています。

③「ストーブの上に置いたやかんな
どの熱湯を浴びる事故」は、つまずい
たり転倒したりして起こることが多い
ため、床に不要な物を置いたり、スト
ーブで煮炊きしたりするのはやめま
しょう。

④「入浴時の事故」を防ぐには、入
浴前に必ず浴槽やシャワーの温度を確
認し、過度な追いだきは控えるよう
にしてください。

(西日本新聞より引用)

感謝 報告 日頃の気配りと訪問活動が 実家の母を救助! ふくし生協に感謝

私の母は85歳。直方
の実家で一人暮らしを
しています。
その母が、去る10月
17日の夕方に大腿骨の
骨折で入院しました。
その入院に至った経緯
をお話します。

本部の人事異動

新事務局長に

増山 弘毅氏(61歳)

このたび、本部事務局の人事異動に
伴い、新事務局長に増山弘毅氏が就任
しました。増山氏は61歳、今後の活躍
に期待がかかります。
尚、前事務局長の高橋氏は常務理
事として引き続き組織発展の重責を
担われます。

入っているから「これはオカシイ」と
思ったそうです。彼女はすぐに、東京
在住の私に電話をくれ訳を話し「窓を
割って入ったみたい」と聞かれたの
で即承諾しました。でも窓はなかなか
割れず、それで台所の窓が少し開いて
いたのでこじあけて突入したところ、
居間に倒れている母を発見、救助にい
たりました。

母は前日(16日)の午前中に転倒
し、一日半激痛で動けず助けを待つて
いたそうです。意識はありましたが衰
弱して話もちぐはぐな感じで、少し妄
想も入っていたみたいです。

足が痛いとのこと「骨折だと思っ
たら救急車を呼ぶよ」と言われお願
いしました。そして救急車が来るまでの
介助と、車に乗り込んでくれた時に、
飯塚に住む妹が駆けつけて間に合い、
バトンタッチしたそうです。

今考えても、もしその親友が訪問し
ていなかったら、倒れたままの母はど
うなっていたかと思うと、つくづく今
回のふくし生協の方々の訪問と素早い
対応によって大事に至らず救助され
たことを、本当に感謝しています。そ
して、これらの様子を全て見守っていた
母のお友達も感動して、その後会員に
なりました。

お陰様で現在、母も杖で歩けるま
でに回復しました。今回は本当にふくし
生協さんにお世話になり感謝で一杯で
す。ありがとうございます。

(東京都目黒区在住 鈴木ひとみ)

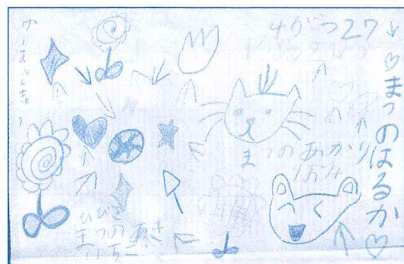
学童保育三年目を迎えて

(ふくし生協直方市学童保育支援センター)
センター長 森元茂利

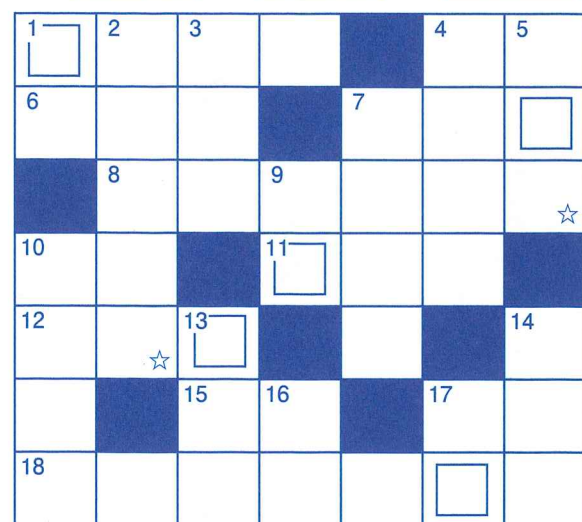
学童保育事業も今年で3年目
を迎えます。最初の1年は10ヶ
所の学童クラブの運営や保育内
容もそれぞれ異なっていた中で、
ふくし生協が運営することにな
る職員も不安を抱えていまし
た。毎週一回、各クラブの職員
代表で構成する主任支援員会議
を開催し、交流と運営内容の検
討を重ね、ようやくふくし生協
での運営にも納得と職員として
の自覚も高まって来たと思いま
す。毎月の出資金増資への協力
も広がっています。

2年目では、保護者会との協
同の取り組みとしてスポーツ大
会を開催することになりました。
た。保護者のみなさんが自ら主
体となって取り組む機運が高
まっています。さらに地域と連
携し、地域の中での子育てを
めざして取り組んでいきたいと思
います。

子どもさんの 可愛い絵画



クロスワードパズル



33

▼タテ、ヨコの「カギ」に従ってマス目に言葉を入れてください。ただし、右下隅に☆のあるマスには漢字が入ります。タテ、ヨコで漢字の読みは違っていても、すべてのマスに埋め終わったら二重マスの中の文字を並べ替えて「ヒント」にふさわしい言葉を作ってください。それが答えです。

- 《タテのカギ》
- 1 収入がなくなると何をの食い上げ?
 - 2 物事の裏表をよく知っている人
 - 3 熱狂がその場を支配すること、興奮の
 - 4 自転車横滑りをする
 - 5 その新聞社だけが入手した記事の材料
 - 7 ゲームオーバー、では最初から相手の予想を出し抜く、何をかく?
 - 10 時代を経た住宅
 - 13 事業を始めるための元手
 - 14 ハンド・シールドなどがあります
 - 16 知らないうちに出てしまいます
 - 17 夏目漱石の「三四郎」「それから」に続く作品
- 《ヨコのカギ》
- 1 一目で分かるように付けておきます
 - 4 要求を通すために仕事をしない
 - 6 時代考証はくに沿っているかどうかを検証します
 - 7 飛行機が滑走路から飛び立ちます
 - 8 感染症を未然に防ぐために受けましよう
 - 10 温く、濃く、意
 - 11 競争路の一回り
 - 12 将来の予測、明るい光が立つ
 - 15 黄色や白の花が咲く秋の植物
 - 17 牛や豚などの食用の内臓
 - 18 人の悩みや問題に対して適切な助言をすること

《ヒント》見掛けると、冬が来たの感じます「〇〇〇〇〇〇」

読者の声

▼先号11月号9ページの「高齢者と思う年齢の記事を見て、後二ヶ月で二〇一歳になる母が「へえ私90歳になった時ちょうど思った」ですって。シラーとね。今も現役、生き字引き、私の漢検の先生はちがうワームももう負けそう。絵手紙で二ワトリ描きました。懐いたらとてもカワイイです。子どもの時は仲良しの友達でした。

▼二〇一六年度東日本震災復興支援ツアーに参加されて、見て知って感じたこと

の感想文に、現地の津波被害と原発事故の現実がよく表されていました。

(糸島郡二丈町・檜和田 正子)

▼広報誌「ひやくさい」を毎号読むたびに、職員の方々の努力の大変さを感じます。

(福岡市南区・瀧尻 恵)

▼前号に「震災ツアー」の報告記事がありました。昨日また東北で大きな地震があり、深く傷ついた方々が居られると思うと悲しいです。

(福岡市早良区・永島 多佳子)

▼私の職場では、利用者様が満席の日も再々ありますが、年が増す毎に骨折入院、お泊りの有る施設、又は家族の希望の

まま、身の振り方を決めざるをえないので施設入所の方々などがおられ、この上、来年から一人暮らしの要支援の方々はどう成るのか心配です。

(福岡市南区・毛利 嘉子)

▼「みんなの文芸広場」の作品の数々、とてもすばらしいです。私も絵を描いたり、句を作ったりして楽しみたいと思います。

(福岡市早良区・林田 正則)

毎号の御愛読、感謝です。これからも「期待」に添うよう頑張ります。

(広報委員会)

漢字クイズの答(読み方)

- ① しんげん
- ② ごんぎょう
- ③ くおん
- ④ きゆう
- ⑤ かんせい
- ⑥ こんげ
- ⑦ ぐどく
- ⑧ ぼんのう
- ⑨ しかい
- ⑩ そじょう
- ⑪ めし
- ⑫ しゃば
- ⑬ あゆ
- ⑭ とうや
- ⑮ じゅそ
- ⑯ こけ
- ⑰ きごう
- ⑱ ひっそく
- ⑳ どんらん

本部事務局だより

第四回介護実践研修会開催

不適切ケアについて学ぶ 九十七名参加



去る11月13日(日)、北九州市小倉北区「パークサイドビル」9階会議室を会場に、標記の研修会が開かれました。当日の会場に県内各所の事業所から九十七名の職員が参加しました。

四回目となった今回は特に「虐待防止の取組み」を研修会の大きなテーマとして位置づけました。午前中は当生協が9月・10月に設定していました「虐待防止月間」の取組みの一つであった各事業所での「虐待の芽チェックリスト」の集約結果の報告を行いました。

就任のご挨拶

事務局長 増山 弘毅



一月より本部署務局長を拝命い

ふくし生協に働き始めて一年八か月が過ぎました。民医連の職場で三十四年勤めての生協運動参加です。利用者様を中心に職員が介護のプロとして技術を発揮し、しっかりと利用者様に寄り添おうというふくし生協の理念に共感し、微力ですが貢献したい、と思います。

二〇一六年十一月より本部署務局長を拝命い

たしました。介護、社会保障が非常に厳しい時代に入ろうとしている今、全県で奮闘されている職員と組合員の皆様をしつかりと支え、運動と事業の前進に貢献できるよう頑張る決意です。

鹿児島県の佐多岬近くに生まれ今年二月で六十二歳です。四人の息子たちはそれぞれ自分の道を歩んでいます。夫婦二人でたまにはデートといきたいですが老犬の世話が目下の最優先。趣味は読書で高田郁、宮部みゆき、坂木司、島中恵らの作品は特に好きです。書店の中を歩き回る癖があります。

次にゲスト講師の福岡県社会福祉士会・理事の稲吉江美氏による講演を拝聴しました。稲吉氏は多くの事例を挙げながら解説していただき、普段の何気ない利用者様が潜んでいることや、介護に携わる職員・組織が常日頃から業務を振り返る事の重要性を語っていた。参加者の多くが氏のお話に大きく頷き、自分達の日頃の業務の中で不適切なものが無かったかを見直す良い機会となりました。

午後の部は、参加者を4つのグループに分けた分科会を開きました。それぞれ①リスクマネジメント・②認知症ケアチーム・③小規模多機能アセスメントチーム・④生協ホームチームに分かれて議論を深めました。午前の部で気付いた点についてそれぞれの分科会で他の事業所職員と意見を交わした事で、さらに多くの問題点やそれらを解決する糸口に気付くことが出来たようでした。参加者の多くが満足する研修会となりました。

今回の研修会のテーマである「虐待の防止」は今回だけでなく、継続して取り組んでいかねばならないテーマです。

今後の業務の中で「気付いて、振り返る」活動が定着していくことを期待しています。

(取材世利)

「おせち料理」注文に感謝

—— あけまして おめでとう ございます ——

旧年中は、当給食センターの弁当をご利用いただきまして誠にありがとうございました。また、年末には恒例となっておりますお正月用「おせち」もご予約注文いただきまして重ねて御礼申し上げます。

本年も職員一同、頑張ってまいります。お引立ての程よろしくお願いいたします。

(給食センター職員一同)



前回の答は「イワシグモ」でした。正解者多数につき、抽選で次の5人の方々にQUOカードを送りました。

ハニ二号クロスワードパズル当選者

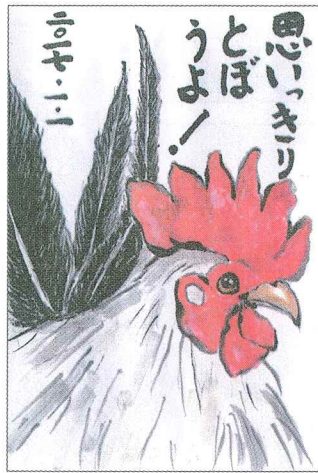
- ・江上 淑子さん(遠賀郡水巻町)
- ・中西 紘二さん(福岡市南区)
- ・檜和田正子さん(糸島市二丈町)
- ・瀧尻 恵さん(福岡市南区)
- ・丸山 玉枝さん(福岡市南区)

完成した言葉と「ひやくさい」の感想などをはがきに書いて、「ふくし生協・広報委員会クロスワードパズル係」まで2月15日必着。正解者の中から抽選で5人にQUO(クオ)カードを送ります。

※出題(西日本新聞より引用)



▲ほのぼの消しゴム版画
(版:加治美千代 字:鶴田輝子)



▲江上淑子(水巻町)

ご投稿ありがとうございます。



▲宮原良子(水巻町)



▲三浦弘子(水巻町)



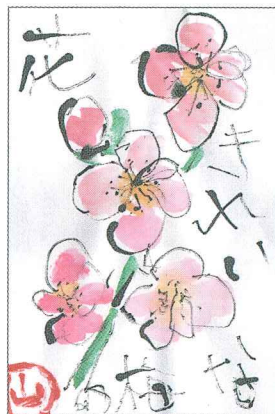
▲古賀信子(水巻町)



▲宮崎房恵(水巻町)



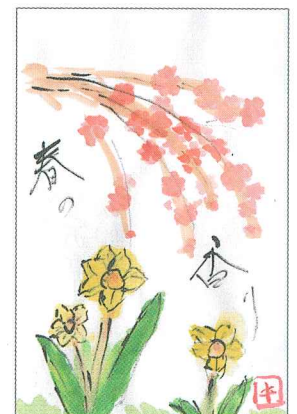
▲山田安子(水巻町)



▲山本百合子(直方)



▲大角政雄(直方)



▲岐部ツタエ(直方)

おこつわり

毎回好評の「リレーエッセイ」と「街かど探訪」記事は都合によりお休みします。

おこつわり

丸山玉枝
返り花 季節の変わり目 咲にけり
紅葉の グラデーシオン よそおいぬ
冬日和 千両の赤 はげまされ
冬の空 スーパームーン 期待せり

丸山玉枝

鉢植えの 菊みだれ咲き 夫しのぶ
千柿に 夫の想い出 蘇る
せき鯖の 刺身つまみに メール待ち

メイ子

俳句 (ミナミデイサービス)

投稿俳句



▲ミナミデイの皆さんの作品